

開成営農経済センターからのお知らせ

2月11日(日) 肥料・農薬の即売会を行います!!

～詳細は別紙のチラシをご覧ください!!～

2月の自己取り商品について

「果樹・野菜春肥料」「果樹・野菜春農薬・除草剤」「お茶春農薬」
「ラウンドアップマックスロード」「環境配慮型資材」「春期生産資材」
令和6年2月15日(木)・16日(金)・17日(土)

9:00～15:00までに取りに来てください。

技術顧問の日 (園芸相談)	農業の専門家が農作業の相談に応じます。(金曜午後と土曜は不在です。) 3日・5日・10日・17日・18日・22日・24日は不在となります。(※上記以外は在席予定となっておりますが、都合により不在の場合がございます。)
お米の日	神奈川県産の玄米を特別価格で販売します。(毎月第2・第4火曜日) 2月13日・27日となります。

～作物管理情報～

【水 稲】

冬季耕うん 12月、1月に行っていない方は直ちに行いましょう。

冬季耕うんの主な目的は①～④となります。1～2回を目安に冬季耕うんをしましょう。

- ① 刈り株・ワラを分解します。*田植え直前(春)にすき込むと病害虫が発生しやすくなります。
- ② 病害虫の越冬場所になりやすい「ひこばえ」を除去します。(害虫を越冬させない)
- ③ 雑草の発生を抑えます。

草種により効果が異なりますが、多年生雑草の塊茎・種子を乾燥により減少させます。

*セリは春に耕うんすると、増えてしまいます。

- ④ 水稻除草剤の効果を安定させます。(田面が平らでないと効果が弱まります。)

スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)対策

ジャンボタニシ発生水田では、寒期にロータリー耕を行い貝を掘り起こし寒気にさらすとともに破碎します。作業速度を遅くしロータリーの回転数を高く浅めに耕うんすると効果が高まります。

【果樹】

縮間伐及び園地環境の改善

高品質果実の生産、低樹高化のためには、十分な樹間距離が必要になります。密植園では、樹高が高くなり作業性が低下し、また日陰になるため高品質果実の生産ができません。剪定に入る前に縮間伐をして十分な樹の間隔を確保しましょう。併せて、園地の防風林等の手入れもしましょう。

※剪定時の切断面保護の為、切り口にトップジンMペーストを塗布しましょう。

— 【温州みかん】 —

施肥 1月～2月

○苦土タンカル 200kg/10a 酸性土壌の是正が目的です。

* 葉色の悪い園(微量元素不足の可能性あり)では、マルチサポート 80kg/10a を使用

整枝剪定(大津・青島) 2月中旬以降(厳寒期を過ぎた頃)から始めましょう。

大津・青島は大果系です。剪定量が多いと大玉果となります。

中玉果の生産のために隔年で管理方法を変えましょう。

【表年の樹】

ハサミ剪定を主体とし、①主枝の切り下げ ②下垂した枝の切返し ③密生した夏秋梢の整理 ④強い夏枝の発生部からの除去等をしましょう。剪定量を増やすと大玉果の原因になります。

【裏年の樹】(昨年着果が多かった樹)

ノコギリ剪定を主体に樹形を整えましょう。樹形は3本主枝の開心自然形が基本になります。

剪定量が多いと、表年の樹と同様に翌年大玉果が増えます。

【共通】

薬剤散布や収穫の作業性向上のため、樹冠内部への入り口を北側に作りましょう。

強い内向枝・病虫害被害枝・枯れ枝は除去しましょう。

— 【湘南ゴールド】 —

収穫

12月以降3月にかけて糖度は上昇し、クエン酸濃度は低下する。外観にとらわれず、食味を確認してから収穫するが、凍害が心配される場合や地域では早めの収穫をすることもあります

貯蔵

貯蔵は貯蔵箱を使用して、湿度保持のため数枚の新聞紙で覆う。コンテナを使用する場合は七分目で4～5段積みにして不織布で覆う。

また、この時期の貯蔵庫は在庫量が少ないので湿度保持に努めましょう。

— 【レモン】 —

施肥 1月～2月

○苦土タンカル 200kg/10a 土壌酸度を適正に保つ。

— 【う め】 —

病虫害防除

* 下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。

1月

○灰星病(開花2部咲き期～満開期) ベルコート水和剤 収穫30日前 3回 2,000倍 50g/水100㍓

※ 灰星病の罹病枝が分からない方は、最寄りの営農経済センターにご確認ください。また、十郎を栽培している場合は、十郎の開花状況に合わせてましょう。

※ 灰星病で枯れた枝は開花期までに剪除して、園内に残さないことが重要です。

3月上旬～3月下旬

○かいよう病 コサイド3000 硬核期まで 2,000倍 50g/水100㍓

(薬害軽減のためクレフノン 200倍 500g/水100㍓を加用する)

3月中旬～3月下旬

○アブラムシ類 スミチオン乳剤 収穫14日前 2回 2,000倍 50ml/水100㍓ 又は

チェス顆粒水和剤 収穫21日前 2回 5,000倍 20g/水100㍓

○灰色かび病・黒星病 ポリバリン水和剤 収穫30日前 3回 1,000倍 100g/水100㍓

※適期は落弁期(花びらの80%が散った時期)ですが、品種により開花時期が異なりますので、注意しましょう。

—【か き】—

病害虫防除

○ヒメコスカシバ 幼虫の生息場所をなくすため、粗皮削りを行います。特に太い枝の分岐部は重点的に削りましょう。

※ 特に伊豆早生は被害を受けやすいため発生に注意しましょう。

※ 越冬病害虫、樹幹害虫は荒皮削り以外にも耕種の防除（落葉、枝などの園外廃棄）を行うと防除効果が高いです。

※ スカシバ類多発園では開花期までにフェニックスフロアブル（開花期まで 200 倍 1 回 500ml/100 畝）主幹部及び主枝に散布する。粗皮を剥いで処理すると効果的です。

整枝剪定 2 月末までには終了しましょう。

樹形は開心自然形が基本になります。主枝 3 本を理想とし、低樹高化に取り組みましょう。

柿は昨年発生した枝の先 2~3 芽から出た新梢に花をつけますので、枝の先端は切り返しをせずに切り戻し剪定を心掛け、主枝・亜主枝の近くに、30~50 cm 毎に充実した結果母枝を配置していきます。

—【キウイフルーツ】—

* 下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょ。

病害虫防除 3 月中旬（発芽前）

○かいよう病 IC ポルドー66D 収穫後~発芽前 50 倍 2,000g/水 100 畝

○キウイヒメヨコバイ アグロスリン乳剤（劇） 収穫 7 日前 3 回 2,000 倍 50ml/水 100 畝

剪定

剪定が終了していない園は、速やかに剪定を終わらせましょう。

—【お 茶】—

整枝 3 月中旬（寒害がなくなるころ）

秋整枝をしていない園では、摘採面を揃えるため浅く整枝しましょう。

秋整枝をした園で、遅れ芽や立ち葉が出ている園では再整枝（化粧ならし）をしましょう。

※再整枝の目的は 1 番茶の品質低下防止です。ごく浅く整枝しましょう。深刈りは減収につながります。

施肥 施肥の前に敷き藁・敷き草等をよけておきましょう。

春肥は、一番茶の芽の生育と品質に効果があり、茶樹はこの時期に平均温度が 10℃以上になると根が動き始めて、樹体内の養分の転流が始まります。

分肥（2 回に分ける）土と混和させると肥効が高まります。

2 月下旬 足柄茶配合 O33 3 袋/10a 3 月中旬に足柄茶配合 O33 2 袋/10a を 1 回ずつ施肥しましょう。

定植 3 月

新植及び改植する場合は 3 月に行います。3 月の定植に合わせ 2 月に定植準備をしましょう。

※農薬名に網掛けがあるものは、購入時に印鑑が必要となります！

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

<注意>

「収穫〇日前」：定められた使用時期。記載されている収穫前日数まで散布ができます。（前日は 24 時間前）

「回数」：農薬成分の総使用回数のこと。栽培期間中、何回散布可能か確認しましょう。

△△店舗により農薬の在庫状況が異なりますので、記載の農薬を購入される場合は購入先の店舗に事前に在庫確認をしていただくとスムーズに購入できます。△△

— 【ジャガイモ】 —

2月中旬～3月上旬

畑の準備

○馬鈴薯専用配合 052 10kg/a 重焼リン 2kg/a 植付けの半月前までに全面施用し混和しておく

種イモの準備と植付け

植付け前に、一片 40～50g の大きさに切り、それぞれに芽がいくつついていることを確認し、芽が集まっている頂部を切る。切った後 2～3 日程陰干しし切り口を乾かす

種イモ量の目安：15～16kg/a

そうか病 アグリマイシン-100 40～100 倍

植付前 1 回 5～10 秒間種いも 浸漬

ネビジン粉剤 6kg/a 植付時 1 回 全面土壌混和

○種イモの黒あざ病による腐敗防止 ベンレート水和剤

種イモ重量の 0.3～0.4% をまぶすと良い (例) 3～4g/種イモ 1kg

幅 60 ㍍程の畝に深さ 7～8 ㍍の溝を作り、種イモの切り口を下にして 30 ㍍間隔に植付ける

※気温が高くなる場合には、種イモの萌芽が進みやすくなります。種イモは通気性の良い容器に移し替え呼吸熱がこもらないようにし、温度 2～3℃ の暗所で保管しましょう。また、種イモの呼吸量が増加すると黒色心腐が発生しやすくなります。発生防止のため温度管理を徹底し高温を避け、換気を十分に行いましょう。

令和 5 年産 湘南潮彩レモン初出荷!!

令和 5 年 12 月、「湘南潮彩レモン」を約 2 トン集荷いたしました!!

湘南潮彩レモンは、当 JA オリジナルブランドとして名称・ロゴマークを商標登録しており、業者や市場から多く要望されています。

「湘南潮彩レモン」は令和 6 年 5 月までの集荷となりますのでレモンを栽培されている方は、ぜひ JA への集荷をご検討ください!

※お問い合わせは、最寄りの営農経済センターまでご連絡ください。

JAねっとショップのご案内

令和5年4月より予約回覧注文書のねっとショップへの掲載が始まり、注文が可能となりました。

「JAねっとショップ」とは…

組合員様向けのねっとショップサービスであり、スマートフォンやパソコンから肥料・農薬・食品等を注文することができます。会員登録及び利用料は無料です。

～ ねっとショップのメリット ～

1. 24 時間いつでもどこでも注文可能
2. 商品によっては値引の適用
3. 過去の購入履歴が閲覧可能

新規会員登録はこちらから!!

<https://jac-toru.zennoh.or.jp/>

又は

QR コード

